

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	身体の発育が未熟なまま生まれた乳児が、指定医療機関において入院治療が必要と認められた場合に、その治療に必要な医療費の一部を助成する	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成25年4月に県からの権限委譲により開始した。	子ども医療費助成事業と関連した助成の仕組みであり、助成対象者が制度を複雑に感じることがある。	助成対象者からは「自己負担金がわかりづらい」等の意見がある。

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 1 日 = 延べ 1 人

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動)										
	申請受付			ア	対象者数	人	18	13	21	15	20
	医療券発行 給付 自己負担金徴収			イ	給付金額	千円	4,814	3,809	5,982	3,877	5,651
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	対象 意図	母子保健法第6条第6項に規定する未熟児をを持つ保護者 経済的負担を減らす		ア	自己負担額軽減率(自己負担総額／ 給付金額)	%	17.9	16.4	19.7	18.7	22.1
	対象 意図			イ							

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧	(7)		
	⑨			

年度	ア
H29	18.0
H30	16.0
R1	20.0
R2	18.0
R3計画	22.0

評価内容	① 進捗状況 ☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難														
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	比較 成果動向	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3計画
							☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		ア Δ1.8	イ Δ1.5	イ 3.3	イ Δ1.0	イ 3.4
	【コメント】 (低下の場合、その理由)														
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()							
		通年	例年通り実施				通年	例年通り実施							